

◎プロタノールL注 [注], ○プロタノールS錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 l-イソプレナリン塩酸塩 (注), dl-イソプレナリン塩酸塩 (錠) **lisoprenaline hydrochloride** (経口剤はラセミ体) 【分類】 β 受容体作用薬

【単位】 ◎0.2mg/mL [1mL], ○15mg/錠

【常用量】 ■注 : 1日 0.2~1.0mg ■内服 : 1日 45~60mg

【用法】 ■点滴静注 ■内服 : 15mg を 1日 3~4回

【透析患者への投与方法】 常用量を使用してよいが、反応性をみて調節 (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 常用量を使用してよいが、反応性をみて調節 (5)

【特徴】 非選択的 β 刺激剤。心収縮力を増強、末梢血管拡張により心拍出量を増加させる。心拍数が増加し心筋酸素需要増加を招き、心筋虚血や不整脈を生じる欠点がある。反復投与により耐性を生じる。速効性 (速やかな肝代謝) のため徐脈性不整脈に緊急時に点滴で用いる。 α 受容体への親和性は低い。

【主な副作用・毒性】 動悸、頻脈、頭痛、皮膚紅潮が多い。狭心痛、嘔気、振戦、めまい、脱力、発汗、不整脈など

【モニターすべき項目】 血圧、ECG、尿量、心拍出量、中心静脈圧、肺動脈圧、肺動脈楔入圧 (U)

【F】 尿中回収率から 90%程度と思われる (5)

【代謝】 肝、肺、その他の臓器で代謝 (U) そのまま硫酸抱合されるか COMT によって 3-O メチル化された後、硫酸抱合される (11) 肝臓あるいは他の組織の COMT で代謝されるが、MAO では分解されにくくニューロンへの取り込みも少ないため、作用時間がエピネフリンより長い (1)

【排泄】 尿中未変化体排泄率 40~50% (U) 60% (1) 経口投与時の尿中回収率 89% [24hr まで] (1) 3-メトキシイソプロテレノールとして 16%回収 [24hr まで] (1) 少量のイソプレナリンが尿中に回収 [po] (1)

【t1/2】 α 相 : 5min、 β 相 : 2.5hr 以上 (11) 1.2hr (1)

【蛋白結合率】 62~74% (11)

【Vd】 0.5L/kg (11)

【MW】 247.72

【透析性】 中等度透析されると思われる (5)

【TDM のポイント】 TDM の対象にならない 【O/W 係数】 資料なし (1)

【効果発現時間】 心血管系 : 5min 以内、気管支拡張 : 直ちに (U)

【効果持続時間】 心血管系 : 10min、気管支拡張 : 1hr 以内 (U)

【備考】 心悸亢進、不整脈、頭痛、過敏症等の副作用に注意する。過度に使用を続けると不整脈、場合によっては心停止を起こすおそれがある。アルカリ剤 (NaHCO₃ 等) との配合は避ける。プロタノール S 錠は徐放性製剤であるため、かまわずに服用。

【更新日】 20150825

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。